Iwate River and National Highway Office

岩手河川国道事務所

2019年度
業務概要

国土交通省東北地方整備局
岩手河川国道事務所

国土交通省東北地方整備局

岩手河川国道事務所
業務概要

CONTENTS

P01　事務所の組織図
　　工事関係費の推移

P02　2019年度　岩手河川国道事務所
　　主要事業箇所図

P04　河川事業 Works about the River
　　北上川水系河川整備基本方針・北上川水系河川
　　整備計画
P11　河川管理

P13　砂防事業　Works about Disaster Prevension

P16　復興支援道路事業　Reconstruction assistance road
　　岩手県内の復興道路・復興支援道路の概要

P20　道路事業　Works about Roads and Traffic
　　改築事業
P22　交通安全事業
P28　道路管理
P29　雪寒事業

P31　防災・災害対策
P32　情報通信技術

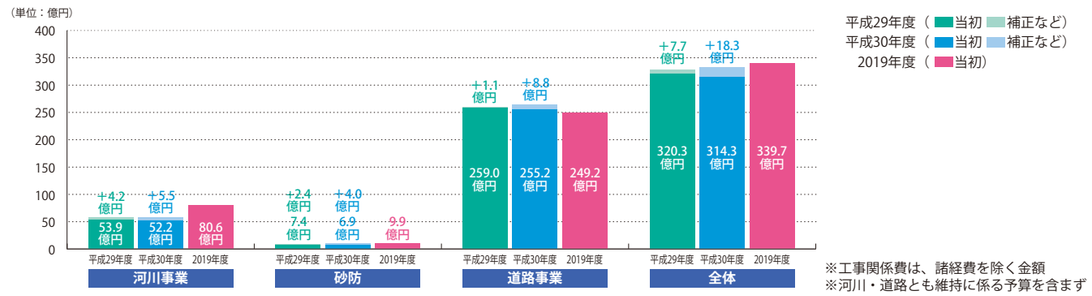
P33　かわ、みち、やま、岩手の情報満載！
　　岩手河川国道事務所のホームページ
　　みなさまの知りたい見たいにお応えします
　　（出前講座・総合学習・現場見学会）

事務所の組織図

- 事務所長
- 副所長（事務）
- 副所長（用地）
- 副所長（河川）
- 副所長（道路）
- 契約事務管理官
- 用地対策官
- 工事品質管理官
- 事業対策官
- 地域防災調整官
- 保全対策官
- 建設専門官
- 上席専門職
- 用地官
- 建設監督官

総務課	TEL:019-624-3204	事務所の一般受付窓口・職員の福利厚生に関することなどを担当し、事務所の全体調整を担当しています。
経理課	TEL:019-624-3214	工事や調査の発注、物の購入など事務所が行う様々な契約事務や、予算の管理、財産の管理等に関する事務を担当しています。
用地第一課	TEL:019-624-3246	主に河川事業に関する土地などの取得、建物移転などの補償業務を担当しています。
用地第二課	TEL:019-624-3248	主に道路事業に関する土地などの取得、建物移転などの補償業務を担当しています。
工務第一課	TEL:019-624-3198	河川(一般改修事業・一関遊水地事業)・河川環境事業、災害復旧工事に関する設計・協議・工事発注の業務を担当しています。
工務第二課	TEL:019-624-3195	宮古盛岡横断道路(一般国道106号)及び管内国道(4・46号)のバイパスや拡幅事業に関する設計・協議・工事発注に関する業務を担当しています。
計画課	TEL:019-624-3179	効率的な施策・事業を実践するため事務所内の業務マネジメントや広報・地域づくりを通じ、NPOや市民団体との協働などを担当しています。
品質確保課	TEL:019-624-3138	総合評価に関する技術審査業務を担当しています。
調査第一課	TEL:019-624-3166	治水計画・水文(雨量・水位・流量)や環境(植物・魚類・鳥類等)に関する調査、砂防・水防に関する業務などを担当しています。
調査第二課	TEL:019-624-3196	道路に関係する調査全般、バイパス等の道路計画策定などの業務を担当しています。
河川占用調整課	TEL:019-624-3273	河川の占用・水利権に関する許認可などの業務を担当しています。
河川管理課	TEL:019-624-3281	河川の維持管理、河川管理施設の修繕工事、水質事故の情報収集などの業務を担当しています。
道路管理第一課	TEL:019-624-3289	道路の管理、占用・承認工事の許認可、道路使用の適正化指導、境界確定、道路損傷復旧事務、道路緊急ダイヤル(#9910)等を担当しています。
道路管理第二課	TEL:019-624-3185	道路の維持管理(損傷箇所の補修や除草・除雪等)の設計・協議・工事発注に関する業務を担当しています。
交通対策課	TEL:019-624-3291	道路の区画線・標識・照明灯の設置や歩道・地下横断歩道をつくったり、交差点の改良などを担当しています。
防災課	TEL:019-624-3174	河川・道路・砂防に関する機械・電気・通信設備の整備や維持管理、建設機械・災害対策用機械・情報処理システムの整備や運用を担当しています。
盛岡出張所 水沢出張所 一関出張所		平常時や洪水時の河川パトロール、堤防・樋門樋管・遊水地などの河川管理施設の維持管理及び工事監督等を担当しています。
一関遊水地用地出張所		堤防や遊水地、河川を管理する道路などをつくる際に必要な用地を皆様から提供して頂くための交渉を担当しています。
盛岡国道維持出張所 二戸国道維持出張所 水沢国道維持出張所 盛岡西国道維持出張所		国道４号、国道46号のパトロールと維持修繕、冬期の除雪作業等に関わる工事監督をしています。(国道４号[北上拡幅・水沢東バイパス]の工事監督を水沢国道維持出張所が担当)
花巻国道出張所		東北横断自動車道釜石秋田線の釜石道(遠野住田IC～東和IC)の維持管理を担当しています。

工事関係費の推移



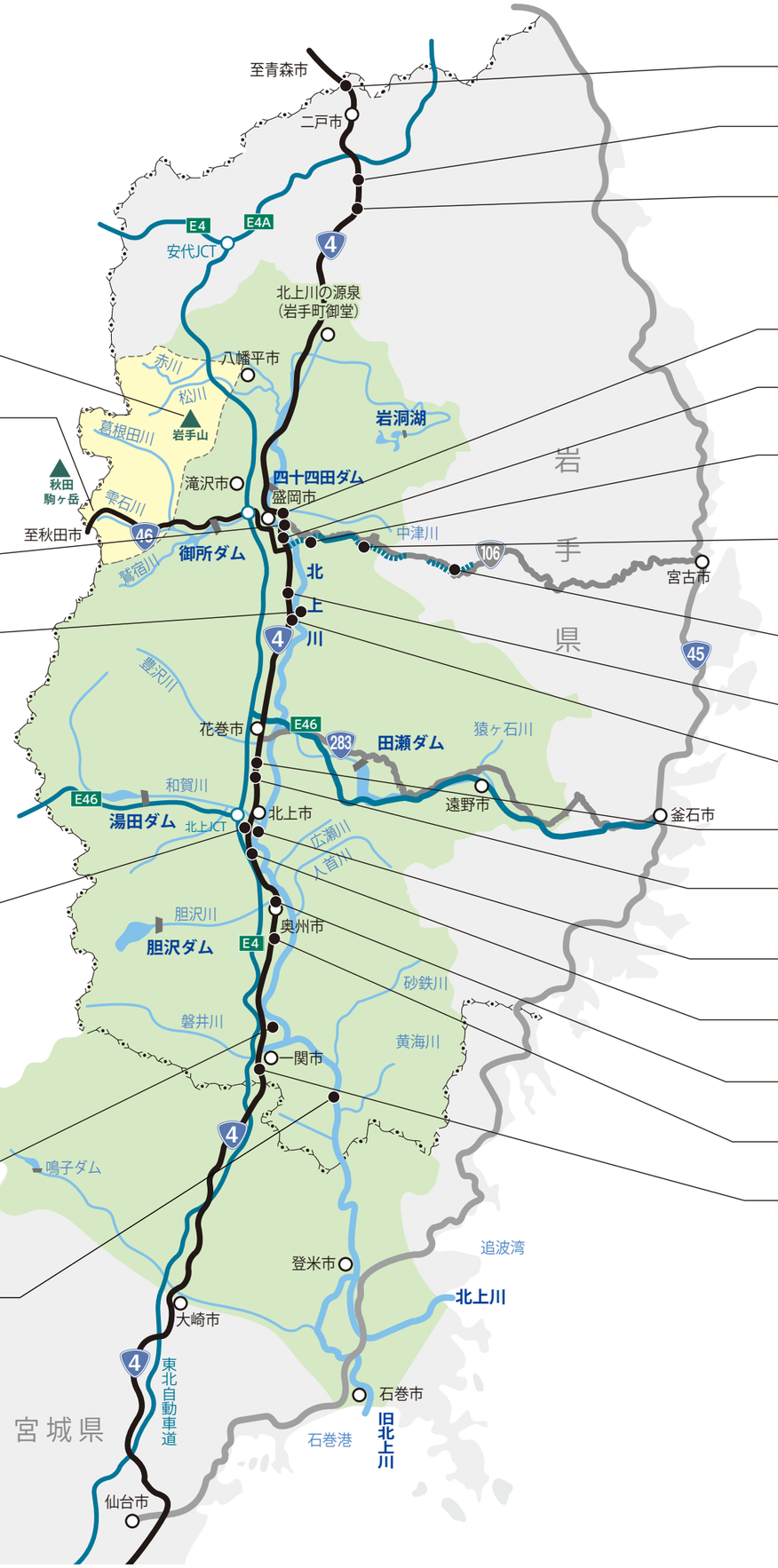
※工事関係費は、諸経費を除く金額
※河川・道路とも維持に係る予算を含まず

2019年度

国土交通省東北地方整備局

岩手河川国道事務所

主要事業箇所図



砂防 八幡平山系直轄火山砂防事業
二双沢／八幡平市、シガクラ沢、
竜川第3、竜川第2、小柳沢／岩手郡雫石町

河川 盛岡地区かわまちづくり事業／盛岡市

河川 北上川中流部緊急治水対策事業／紫波郡紫波町

河川 北上川上流自然再生事業／北上市

河川 一関遊水地事業
／一関市、西磐井郡平泉町、奥州市

河川 北上川狭隘地区治水対策事業／一関市

道路 国道4号青岩地区歩道整備／二戸市

道路 国道4号岩館地区歩道整備／二戸郡一戸町

道路 国道4号中山地区付加車線整備／
二戸郡一戸町

道路 国道46号盛岡西バイパス／盛岡市

道路 国道4号川久保交差点改良／盛岡市

道路 国道106号宮古盛岡横断道路
都南川目道路／盛岡市

道路 国道106号宮古盛岡横断道路
区界道路（区界～簗川）／盛岡市、宮古市

道路 国道106号宮古盛岡横断道路
平津戸松草道路（平津戸・岩井～松草）／宮古市

道路 国道4号紫波地区交差点改良／紫波郡紫波町

道路 国道4号北日詰交差点改良／紫波郡紫波町

道路 国道4号山の神地区交差点改良／花巻市

道路 国道4号村崎野地区交差点改良／北上市

道路 国道4号北上拡幅／北上市

道路 国道4号金ケ崎拡幅／胆沢郡金ケ崎町

道路 国道4号水沢東バイパス／奥州市

道路 国道4号折居交差点改良／奥州市

道路 国道4号一関地区事故対策／一関市

［凡例］

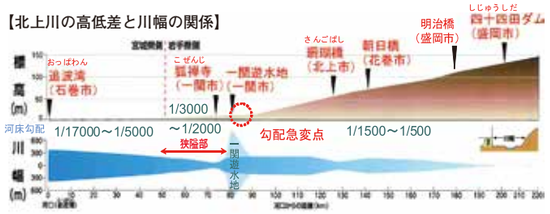
- 北上川流域
- 砂防事業
- 高速道路
- 直轄国道
- 河川
- 県境
- 河川事業
- 砂防事業
- 復興支援道路
- 道路改築事業
- 交通安全事業

《北上川上流の特徴》

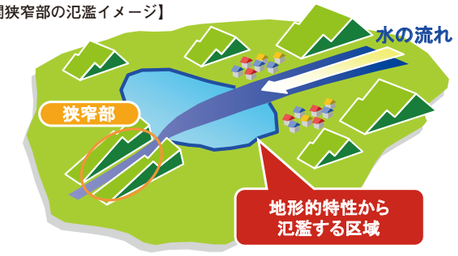
洪水が発生しやすい流域特性～北上川流域の地形・地質特性

- 南北に長く東西に狭い地形となっており、西の奥羽山脈、東の北上高地から支川が流入している
- 一関遊水地周辺を境に勾配が変化し、県境までは川幅狭く勾配が緩い
- 狭窄部ならびに狭窄部上流で氾濫が常襲【貯留型の氾濫形態】
- 宮城県側は標高10m以下の低平地【拡散型の氾濫形態】

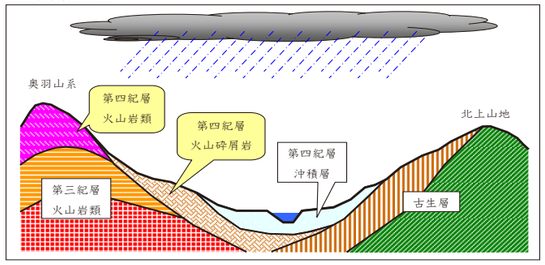
【北上川の高低差と川幅の関係】



【一関狭窄部の氾濫イメージ】



流域横断模式図



松川上流の崩壊地の状況

産女川上流の土砂の崩壊状況

北上川水系河川整備基本方針・北上川水系河川整備計画

河川整備基本方針は、長期的な観点から基本高水、計画高水流量等、河川整備の基本的な方針を定めるもので、「北上川水系河川整備基本方針」については、平成18年11月1日付で策定（平成24年11月14日一部変更）しています。

また、河川整備計画は河川整備基本方針に沿って、概ね30年間の段階的な川づくりの内容を策定するものであり、計画策定にあたっては、学識経験者で構成される「北上川水系河川整備学識者懇談会」からの意見を伺ったほか、地域の意見を計画に反映するため、パブリックコメント等を実施し、これらの意見を踏まえた上で、岩手県・宮城県、関係市町村及び関係省庁より意見を伺い、平成24年11月20日に策定しておりました。

近年、局地化・集中化する降雨により洪水が発生し、上流部の四十四田ダムや御所ダムでは計画高水流量を上回る洪水流量を記録するなど、施設の能力を超える洪水発生の懸念が高まっています。このため、平成30年6月29日に河川整備計画を変更し、四十四田ダム等の洪水調節機能向上や四十四田ダム下流の流下能力不足箇所の対策を位置付けたところです。

今後も頻発するおそれのある局地的な豪雨災害等に対する備えを充実し、ハード対策とソフト対策を一体的に推進し、北上川の安全・安心の向上に取り組んでまいります。

※基本高水流量は、流域に降った雨がそのまま川に流れ出た場合の流量のことです。
※計画高水流量は、基本高水流量からダムや調節池などの洪水調節の量を差し引いた川を流れる流量のことです。

《北上川の安全度向上に向けて》

北上川水系河川整備計画　変更のポイント（平成30年6月）

1　既設ダムの有効活用による北上川上流域の安全度向上

四十四田ダム下流に広がる盛岡市街地

北上川では、平成25年8月と9月に、上流域の盛岡市近郊の四十四田ダムと御所ダムで、計画を上回る洪水流量を記録し、御所ダムでは、ほぼ満杯まで洪水を貯留し下流の盛岡市街地を洪水被害から防ぎました。

北上川の上流域は、流域内で特に人口･資産が集積する盛岡市中心部を抱え、ダム等の治水施設の能力を超える豪雨が発生した場合、その被害は甚大です。

このため、盛岡市街地を含む北上川上流部の安全度向上を目指して、「四十四田ダムと御所ダムの洪水調節機能向上」を河川整備計画に位置付けました。

四十四田ダムと御所ダムの洪水調節機能向上

◆四十四田ダムの貯水容量増大

四十四田ダムのかさ上げにより、洪水調節容量を最大1.2倍に増加させます。

※嵩上げなど、貯水池容量増大の具体的な実施の手法については、今後、詳細な調査、検討を行い決定します。

◆御所ダム等の柔軟で効果的な運用

近年、頻発する短時間の豪雨に対しても、より柔軟で効果的な対応が可能となるよう、御所ダム等の操作ルールを変更します。

※具体的な操作ルールは、今後、詳細な検討を行い決定します。

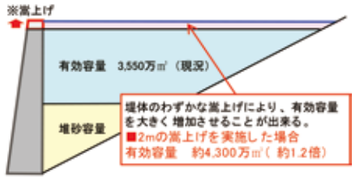


図　嵩上げによる洪水調節容量の増大イメージ

2　ダム放流の制約となる下流ボトルネックへの対応

四十四田ダムの下流に局所的な流下能力不足箇所(ボトルネック)があるため、ボトルネック箇所周辺の家屋等に被害が生じないよう、洪水調節時の最大放流量を能力未満に制限している状況にあります。

ボトルネック箇所の流下能力を向上させることで、より大きな洪水流量から洪水調節操作を開始することが可能となり、四十四田ダムの洪水調節容量のさらなる有効活用が期待できます。

このため、四十四田ダムの貯水容量増大と合わせ、ボトルネック箇所の流下能力を向上させるための対策を行います。

四十四田ダム下流の流下能力不足箇所

四十四田ダム下流の流下能力不足箇所付近の洪水時の状況（H25.9洪水）

※ボトルネック箇所の具体的な流下能力向上対策については、今後、詳細な検討を行い決定していきます。

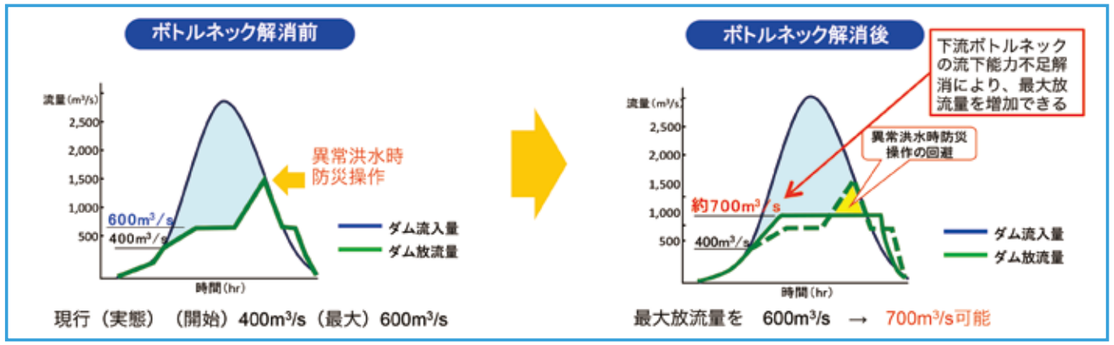


図　ボトルネック解消効果のイメージ（四十四田ダム）

TOPICS

「防災・減災、国土強靭化のための３か年緊急対策

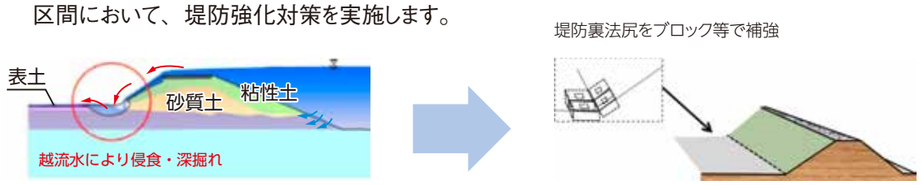
平成30年災害発生（7月西日本豪雨、台風21号、大阪北部地震、北海道胆振東部地震等）を踏まえ、「重要インフラ緊急点検」を実施し、国民の経済、生活を支える重要インフラについて、災害時にしっかり機能を維持できるよう防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策を実施します。

3か年緊急対策は、①「水害・土砂災害から命を守るインフラの強化」のハード対策と②「命を守るために必要なリスク情報の徹底的な周知」のソフト対策との2本柱になっております。

北上川上流では、ハード対策として氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木・堆積土砂等に起因した氾濫危険性解消を概ね完了させるため、L=38.6kmの区間で樹木伐採又は堆積土砂撤去を行います。

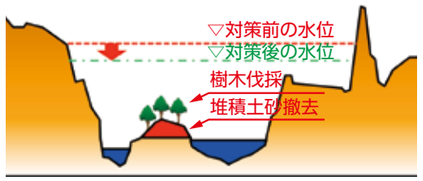
樹木伐採のイメージ

堤防決壊が発生した場合に湛水深が深く、特に多数の人命被害等が生じる4.1kmの区間において、堤防強化対策を実施します。



堤防強化対策のイメージ

堆積土砂撤去・樹木伐採を推進し、洪水時の水位を低下させます。



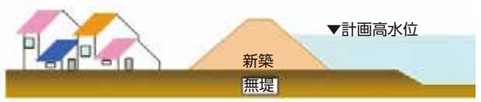
堆積土砂撤去・樹木伐採（イメージ）

【北上川上流での主な予定箇所　彦部上流地区（岩手県紫波郡紫波町）】

北上川中流部緊急治水対策事業（紫波郡紫波町）

事業の概要

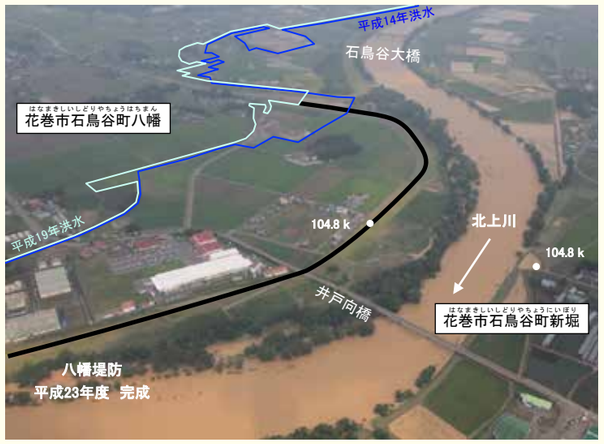
平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水のわずか5年で2度も甚大な浸水被害が発生しているため、浸水被害の早期解消を目指します。



（岩手県紫波郡紫波町）平成19年9月洪水

事業の効果

堤防が無い区間の紫波町から奥州市にかけての「中流部」で緊急治水対策事業を行っており、 平成23年度に完成した八幡堤防（花巻市石鳥谷町）により、平成25年8月洪水において、床下浸水（15戸）・浸水面積（60ha）の被害を軽減する効果が得られました。



整備後（平成25年8月洪水）

整備前（平成19年9月洪水）

洪水	床上浸水	床下浸水	浸水面積
平成19年9月洪水被害	17戸	8戸	236.2ha
平成25年8月洪水実績	0戸	0戸	0ha
平成25年8月洪水（堤防がなかった場合）	0戸	15戸	60.0ha

2019年度事業内容　日詰地区において、堤防整備の進捗をはかります。

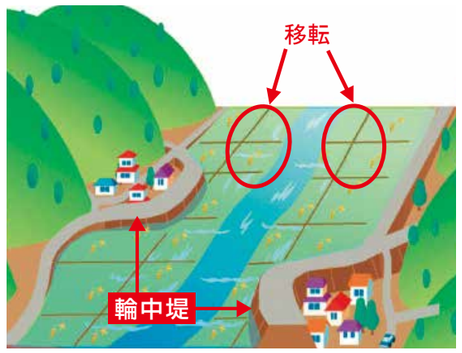
北上川狭隘地区治水対策事業／一関市

事業の効果

輪中堤の整備及び家屋移転による治水対策を行うことにより、過去の主要洪水である平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水等での浸水家屋に対する再度災害を防止するとともに、狭隘地区治水対策としてのHWL以下の家屋79戸を浸水被害から防御します。

整備前

整備後



事業の概要

これまでの連続堤による整備では、狭い範囲に堤防を設置することで現存宅地への影響など生活環境の悪化や貴重な田畑の著しい減少などの弊害があります。また、整備する延長が長いことから、膨大な事業費と完成までに長い期間が必要となります。

このため、治水対策の実施にあたっては、輪中堤での対策を基本として、住家移転の対策などでも進めています。

輪中堤整備により、連続堤に比べて迅速な整備が可能となり、早期に治水効果を発揮でき、住民の方の田畑への影響は小さくなるなどのメリットがあります。

一関市畑の沢地区　洪水時（平成14年7月洪水）

2019年度事業内容　畑の沢地区において輪中堤整備の進捗をはかります。

一関遊水地事業／一関市・西磐井郡平泉町・奥州市

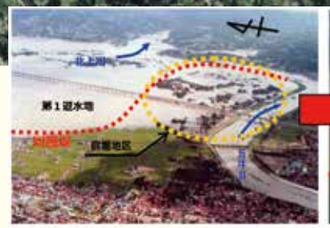
事業の効果

平成19年9月洪水　浸水区域図

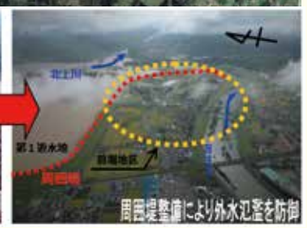
●一関遊水地における実績被害と想定被害の比較

一関遊水地	浸水面積(ha)※3	浸水家屋(戸)
平成19年9月17日洪水実績※1	0	0
一関遊水地の周囲堤・本川堤なかった場合※2	524	390

※1　実績は平成19年12月末現在の集計値（北上川の外水による浸水被害）
※2　平成19年9月17日洪水の氾濫シミュレーション結果による推定値
※3　一関遊水地の面積（1450ha）は含まれていない。



昭和56年8月洪水（周囲堤整備前）



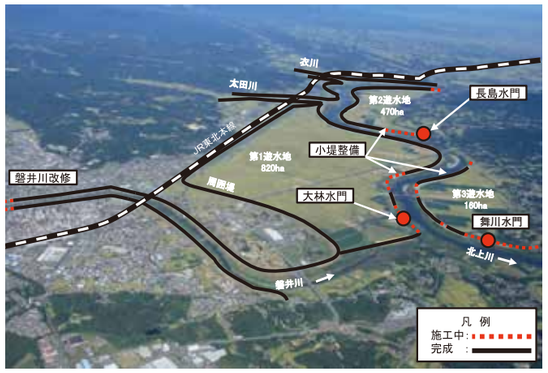
平成19年9月洪水（周囲堤整備後）

事業の概要

一関遊水地は、市街地を洪水から防御する「本堤（周囲堤）」と洪水調節及び遊水地内の優良農地を中小洪水から守る「小堤」の二線堤で構成され、「本堤（周囲堤）」は平成19年度に完成しています。

小堤は、平成18年度から整備に着手しており、小堤関連工事として平成25年度に第1遊水地の大林水門、平成26年度に第2遊水地の長島水門、平成29年度に舞川水門に着手しています。

磐井川では、JR磐井川橋梁から上流区間の堤防改修を平成21年度から進めています。



2019年度事業内容　大林水門、長島水門、舞川水門、小堤および磐井川の工事を推進します。

盛岡地区かわまちづくり事業／盛岡市

事業の概要

北上川と中津川は盛岡市街地を流れる川でありながら豊かで美しい自然を有し、石積護岸が街の景観を形づくっているなど、盛岡市のシンボル的な存在となっており、年間を通して河川を利用する多くの市民や観光客が見られます。

水辺の空間を地域の行事や観光等に利活用でき、かつ安全な河川利用の促進に資するため、散策路や階段、景観に配慮した高水護岸の修景等の整備を実施します。

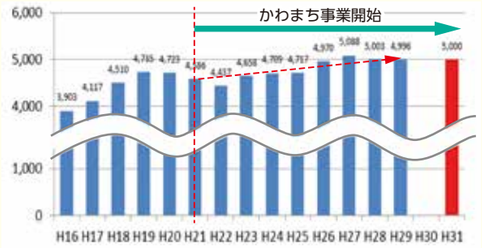
東北絆まつり（平成30年6月2～3日）で賑わう木伏緑地（北上川）

事業の効果

盛岡市の年間入込客数の推移は、かわまちづくり事業を開始した以降、着実に増加しています。

「盛岡市観光推進計画（5ヶ年計画）」において、平成31年度までの目標数500百万人を平成27・28年と達成し、更なる取組みを実施します。

盛岡市の年間入込客数の推移と目標



2019年度事業内容　階段や看板設置などの整備を実施します。

北上川上流自然再生事業／北上市

事業の概要

北上川と和賀川の合流点付近は、昭和30年代までは礫河原でしたが、近年外来種等の樹木が繁茂し、河道内の陸地化（砂州）が進行したことにより澪筋（川の流れ）が固定化され、河川環境の多様性の阻害が懸念されています。

北上川本来の清冽な流れと礫河原を再生し、良好な生態系の確保を目的とした砂州撤去や樹木伐採を行います。

また、地域による維持管理活動や総合学習の場としての利活用などの取り組みを行っています。

生き物観察会での昆虫類捕獲

捕獲した生き物の観察

事業の効果

事業の実施により、礫河原風景が復元されるとともに、礫河原に依存する動植物が継続して確認されるなど、多様な生態系が復元されてきています。

2019年度事業内容　モニタリング調査を実施します。

《河川管理》

岩手河川国道事務所では盛岡・水沢・一関の各出張所において、洪水等から生命・財産を守るため日々の河川巡視、河川管理施設（堤防・樋門・護岸等）の保守点検や補修を行っています。また、総合学習や河川愛護活動等を支援しています。

河川維持

堤防整備区間において、堤防の強度維持、良好な河川環境の維持（沿川の緑の空間の創出、害虫の抑制など）を図るため、年数回の堤防除草および塵芥処理を実施しています。また、河川愛護啓発のため、地域の方々にご協力いただき、北上川一斉河川清掃等を実施しております。

河川管理

河川状況把握と不法行為監視のため、河川巡視を週2巡行っています（冬期は週1巡）。河川管理施設については、水閘門点検（月1回および年点検）を実施し、堤防や護岸についても定期的に点検を実施しています。また、河川流況把握のため、雨量観測や流量観測（月1～2回および出水時）を行っています。

河川修繕

補修計画に基づき、河川管理施設の修繕を実施する他、河川巡視や施設点検において発見された破損等による危険箇所について、随時応急処置を実施します。

許認可関係

河川区域内の土地占用及び水利権に関する許認可などの事務を行っています。

河川巡視

流量観測

特殊堤修繕

河川管理施設の点検

堤防除草

風倒木処理

北上川流域一斉清掃

北上川上流重要水防箇所点検

イギリス海岸出現の試み

宮沢賢治の命日である9月21日に、花巻市の北上川で「イギリス海岸」を出現させる試みを平成19年から毎年実施しています。これは発電事業者等の協力のもと、国管理及び岩手県管理の5ダムの放流調整を行い、H30までに一部出現を含め5回出現しています。

イギリス海岸出現状況

北上川水系水質汚濁対策連絡協議会

河川や水路などへの灯油流出等による水質事故は、上水道の取水停止や、魚などの生息環境が悪化するなど生活に大きな影響を与えることがあります。このため、関係機関で連携し速やかな処理を行うために協議会を設置しています。

流出した油の処理

TOPICS

北上川上流大規模氾濫減災協議会

平成28年　8月29日「取組方針」策定
平成29年12月27日「取組方針」見直し
平成30年　6月12日「協議会名」変更

◆設立背景及び目的

近年頻発している集中豪雨等により、施設では守り切れない大洪水は必ず発生する前提にたった防災を意識し、逃げ遅れる人をなくす、経済被害を最小化するなど、減災の取り組みを社会全体で推進していくことが重要です。

このようなことから、北上川上流域の８市７町※と気象庁盛岡地方気象台、岩手県、国土交通省東北地方整備局は、「北上川上流大規模氾濫減災協議会」を設立し、「被害の最小化」を目指すことを目的とした各種取組を実施しています。

※北上川上流域の8市7町… 盛岡市、花巻市、北上市、遠野市、一関市、八幡平市、奥州市、滝沢市、雫石町、岩手町、紫波町、矢巾町、西和賀町、金ケ崎町、平泉町

◆取組内容

発生しうる大規模水害※に対し「避難する・防災力を育てる・地域を守る」ことで、氾濫被害の最小化を目指します。

- ●避難する ➡ 流域住民が主体的に水害リスクを把握し、人命を守ること。
- ●防災力を育てる ➡ 地域防災力を維持・継続・強化すること。
- ●地域を守る ➡ 水防団が実施する水防活動や河川管理者が実施する排水活動等に加え、流域住民も参画し、地域の人命と財産を守ること。

※ 大規模水害……想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

平成30年度取組結果

①安全な避難行動のための取組

●水害リスクに関する情報提供等の充実

地域の水害リスクに関する出前講座
（平成30年6月18日 盛岡市立本宮小学校）

地域の水害リスクに関する出前講座
（平成30年12月4日 盛岡市手城森地区）

②地域防災力を維持・継続・強化するための取組

●PDCAサイクルを取り入れた自助・共助・公助の連携

水防災ワークショップ開催
ーマイ・タイムライン作成ー
（平泉町）

●正しい知識の周知・定着

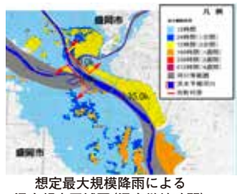
防災・河川教育の取組
（平成29年8月25日 奥州市立姉体小学校）

●カスリン・アイオン台風70年の取組

あいぼーとフェア'18開催

③人命と財産を守るための取組

重要水防箇所合同点検



想定最大規模降雨による
浸水想定区域図（浸水継続時間）
長期排水計画の作成

1.事業の目的

八幡平山系は、岩手山、秋田駒ヶ岳等の火山活動の影響により荒廃が進み、火山地域特有の地質等に起因する土砂災害が繰返し発生してきたことから、平成2年より直轄火山砂防事業に着手しています。

また、岩手山では平成10年頃より火山活動が活発化し、同年の火山噴火予知連絡会において「水蒸気爆発につながる可能性」が指摘され、噴火への対応が課題となっています。

一方、秋田駒ヶ岳は、明治以降では約40年周期で噴火活動を繰り返しており、前回噴火の昭和45年から2019年時点で50年目となります。さらに、前回噴火した女岳の北東斜面で、平成21年8月に確認された樹木の枯死域が拡大傾向にあることが気象庁による火山監視でも確認されており、平成30年の調査でも、さらなる拡大が確認され、岩手山と同様に噴火への対応が課題となっています。

八幡平山系においては、岩手山、秋田駒ヶ岳の山麓部周辺の集落や、温泉、スキー場などの観光施設、国道46号や秋田新幹線といった重要交通網が位置しており、土砂災害の発生時には、これらへの甚大な被害により、岩手県・秋田県の社会・経済活動に深刻な影響を及ぼすことが想定されます。

このため、火山活動の影響による荒廃及び噴火による降灰後の環境下で降雨に伴い発生する土石流等による被害を防止するため、砂防施設の整備を行うものです。

2.事業の概要

《八幡平山系直轄火山砂防事業》

2019年度は、岩手山噴火対応および秋田駒ヶ岳噴火対応として、砂防施設の整備等について推進します。

■事業箇所：岩手県八幡平市、滝沢市、雫石町
■直轄砂防流域面積：548㎢
■対策工：砂防堰堤、渓流保全工

①二双沢砂防堰堤／八幡平市
②シガクラ沢砂防堰堤／岩手郡雫石町
③竜川第3砂防堰堤／岩手郡雫石町
④竜川第2砂防堰堤／岩手郡雫石町
⑤小柳沢砂防堰堤／岩手郡雫石町

3.過去の土砂災害と被災履歴

■平成20年4月発生　葛根田川大規模崩壊

融雪に起因した大規模な土砂崩落（長さ200m、幅100m）が発生し、葛根田川が一時閉塞したほか県道西山生保内線が2ヶ月間通行止になりました。また葛根田地熱発電所からの電力供給が停止しました。

■平成18年8月発生　御神坂沢土石流

台風10号に伴う豪雨により、岩手山南斜面の御神坂沢で土石流が発生し、大量の土砂や岩石が県道網張温泉線及び登山口駐車場を覆いました。

軽傷者一名の被害が発生し、県道は約2ヶ月にわたり通行止めとなりました。

葛根田川で発生した大規模崩壊

4.岩手山・秋田駒ヶ岳の火山活動

■岩手山の火山活動

岩手山で有史に残る噴火履歴としては、大正8年（1919年）の大地獄谷での小規模な水蒸気爆発、貞享3年（1686年）のスコリア流や融雪型火山泥流が発生し、家屋や樹木を押し流した噴火があります。

■秋田駒ヶ岳の火山活動

秋田駒ケ岳は、最近の100年間で3回噴火しています。最も新しい噴火は昭和45年（1970年）の噴火で、この時は約3ヶ月にわたり溶岩を噴出しました。

平成21年（2009年）には女岳北東斜面で噴気活動による樹木の枯死、地熱域の拡大が確認され、現在も樹木枯死の範囲が拡大傾向にあります。

大地獄谷の噴気（2000.1.9）

1970-71年噴火時の様子（噴火口は女岳）

八幡平山系直轄火山砂防事業／岩手郡雫石町

シガクラ沢砂防堰堤／竜川第3砂防堰堤
竜川第2砂防堰堤／小柳沢砂防堰堤

事業の概要

竜川流域においては、秋田駒ヶ岳噴火後の降灰が降雨により土石流となり流れるおそれがあることから、秋田駒ヶ岳下流集落の生命と財産及び経済・産業の大動脈である国道46号、秋田新幹線を土砂災害から守るため、早急な対策が必要となっています。

事業の効果

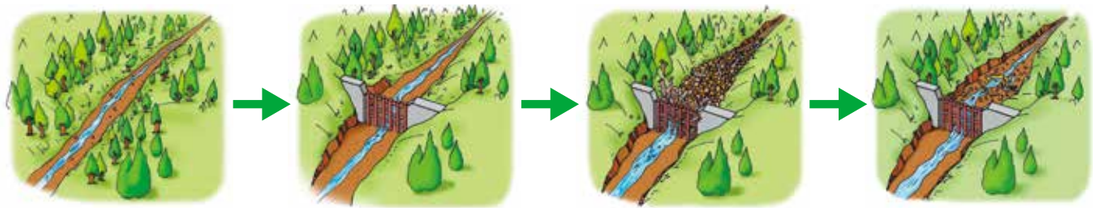
人家、国道、鉄道等を土砂災害から防止します。

2019年度事業内容

シガクラ沢砂防堰堤、竜川第3砂防堰堤、竜川第2砂防堰堤について、整備促進を図ります。

	構造	堰堤高・延長	土砂の捕捉量
シガクラ沢砂防堰堤	コンクリートスリット（透過型砂防堰堤）	H＝ 27.5m L＝ 81.5m	約225千㎥
竜川第３砂防堰堤	鋼製スリット（透過型砂防堰堤）	H＝ 14.0m L＝171.0m	約178千㎥
竜川第２砂防堰堤	鋼製スリット（透過型砂防堰堤）	H＝ 11.5m L＝ 94.8m	約105千㎥

透過型砂防堰堤が土石流をとらえる働き



①川（渓流）ではいつも水と一緒に土砂も流れています。

②透過型砂防堰堤を設けた場合でも、普段は、水と土砂は同じように下流に流れていきます。

③大雨が降り土石流が発生したとき、大きな岩、流木などを含む土砂は、堰堤に引っかかり止まります。

④堰堤にたまった岩、土砂や流木は、次の土石流に備えて取り除きます。

砂防事業の効果発現事例

平成25年9月16日の台風18号の発生に伴い、岩手県内全域で豪雨被害が発生しました。八幡平市に設置された東八幡平雨量観測所においても、降り始めからの10時間（16日8時～18時）で累加雨量200㎜を超える大雨となりました。

この大雨により、八幡平市松尾寄木地内の小水無沢で土石流が発生しましたが、砂防堰堤（小水無沢第一砂防堰堤）が整備されていたため、流木と土石流を捕捉し下流地区の被害を防止しました。

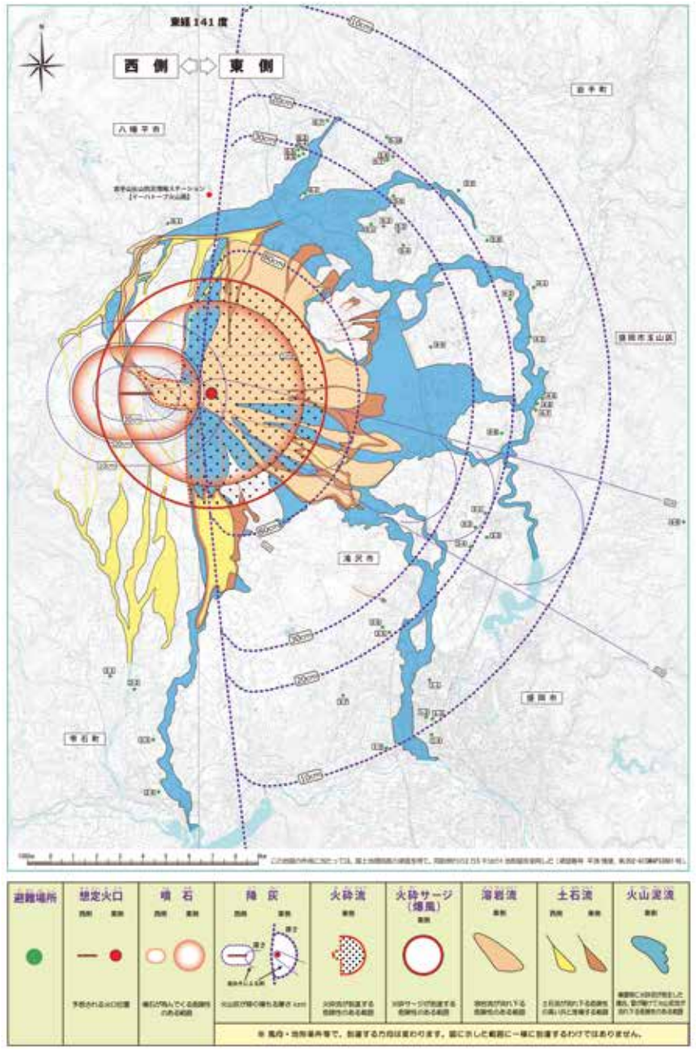
※砂防堰堤により約500㎥の流木、約8,000㎥の土砂・転石を捕捉し、現在は次の土石流に備えるため、土砂・転石は撤去済みです。

土石流発生前（H24年6月）

土石流発生後（H25年9月17日）

■岩手山火山防災マップ

- 火山噴火が発生した場合の災害予想区域を表示
- 警戒避難や防災対策に活用することを目的に作成



岩手山火山防災マップ　http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/bousai/sonae/kazan_map/map01.htm
秋田駒ヶ岳火山防災マップ　http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/01_kawa/kikikanri/akikoma/map.html

復興支援道路

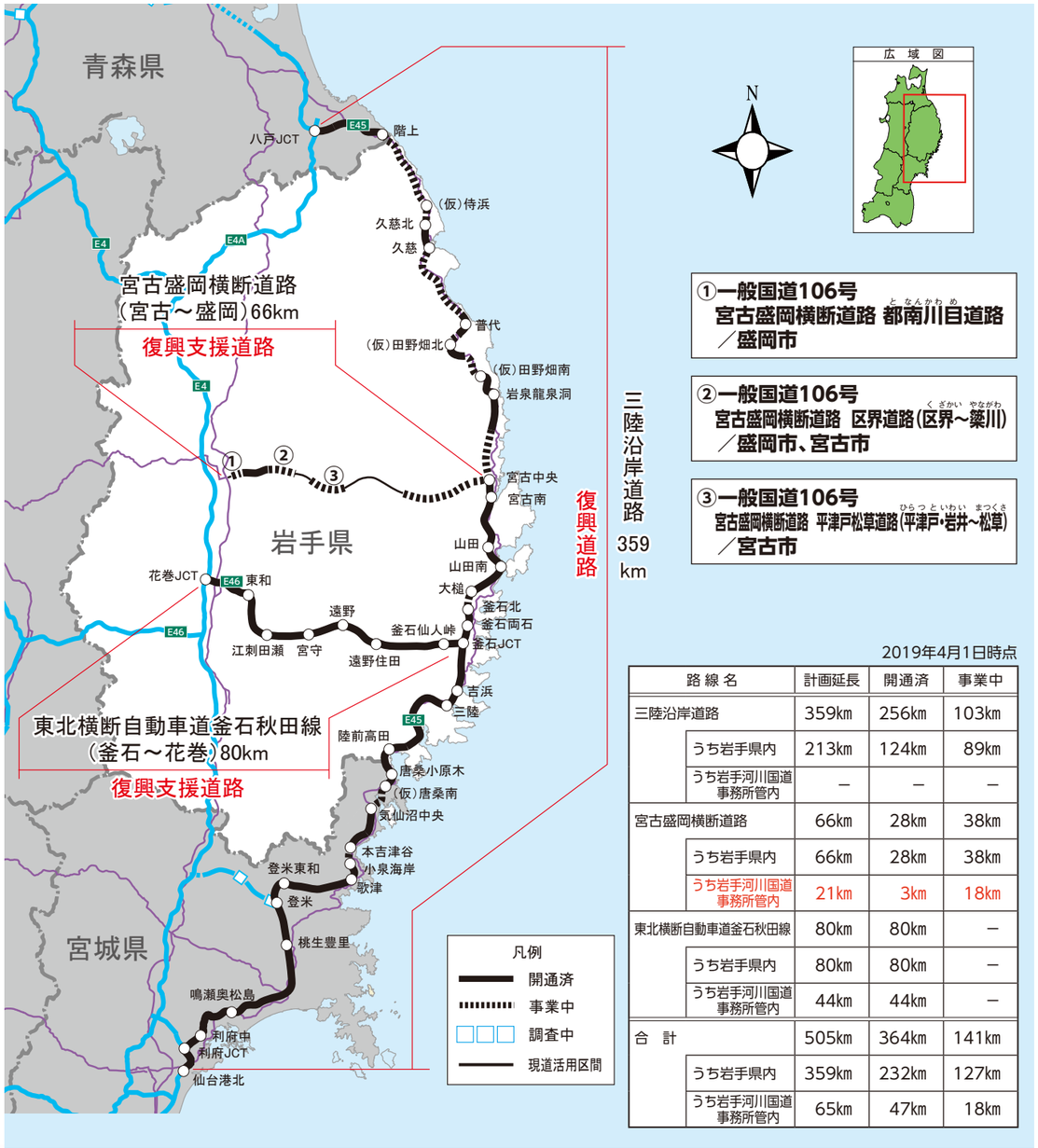
東北・被災地域の速やかな復興と
連携を支える道づくり

Reconstruction assistance road

東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻）と宮古盛岡横断道路は、東日本大震災からの復興に向けてリーディングプロジェクトとなる復興支援道路です。

東北・被災地域の速やかな復興、太平洋沿岸と内陸を結ぶ横断軸の強化によって連携を促進することによる被災地の早期復興の支援、平常時も含めた救急搬送圏域の拡大による安全・安心を確保するため、交通隘路箇所を解消し速達性を確保することを目的とした事業です。

岩手県内の復興道路・復興支援道路の概要

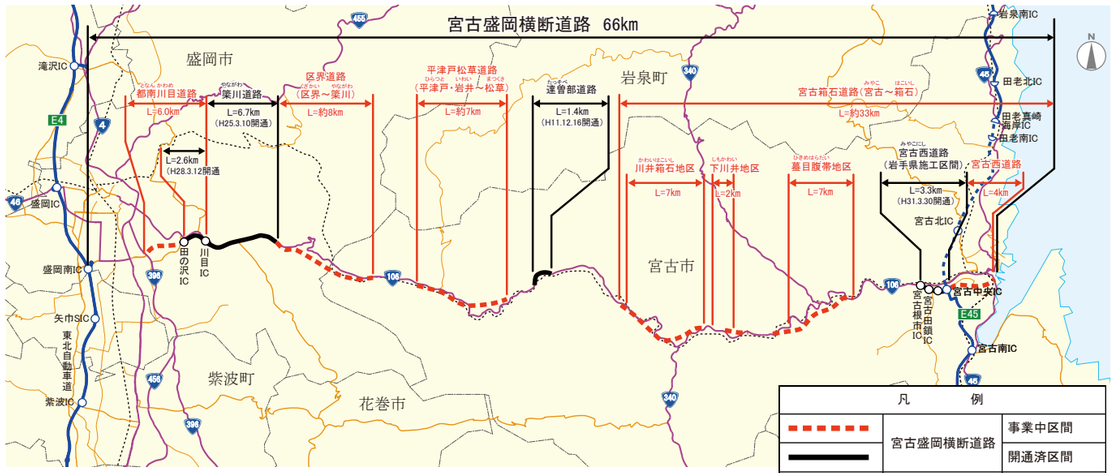


2019年4月1日時点

路線名		計画延長	開通済	事業中
三陸沿岸道路		359km	256km	103km
	うち岩手県内	213km	124km	89km
	うち岩手河川国道事務所管内	－	－	－
宮古盛岡横断道路		66km	28km	38km
	うち岩手県内	66km	28km	38km
	うち岩手河川国道事務所管内	21km	3km	18km
東北横断自動車道釜石秋田線		80km	80km	－
	うち岩手県内	80km	80km	－
	うち岩手河川国道事務所管内	44km	44km	－
合計		505km	364km	141km
	うち岩手県内	359km	232km	127km
	うち岩手河川国道事務所管内	65km	47km	18km

復興支援道路　宮古盛岡横断道路

【平面図】



宮古盛岡横断道路の概要

東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を推進することによる被災地の早期復興支援及び平常時も含めた緊急輸送圏域の拡大による安全・安心を確保するため、横断軸の隘路箇所を解消し速達性の確保を目的とする道路です。

岩手河川国道事務所では、「都南川目道路」「区界道路」「平津戸松草道路」の3区間約21kmの整備を担当し、このうち「都南川目道路」の川目IC～田の沢IC間約3kmについては、平成28年3月12日に開通しております。

国道106号“都南川目道路”／盛岡市

盛岡市川目（川目IC）から盛岡市手代森（手代森IC）を結ぶ自動車専用道路です。この区間は平成9年度に事業化となりました。

【設計諸元】幅員 ・・・・・・2車線　13.5m
構造規格・・・第1種第3級
設計速度・・・80km/h

2019年度事業内容

交差点改良工事、舗装工事、道路付属物等工事を促進し、2019年度の開通を図ります。

国道106号 “区界道路(区界～簗川)”／盛岡市・宮古市

宮古市区界から盛岡市簗川を結ぶ延長8kmの自動車専用道路です。この区間は平成23年度に事業化となりました。

【設計諸元】 幅員 ……2車線　13.5m
構造規格…第1種第3級
設計速度…80km/h

2019年度事業内容

改良工事、トンネル舗装工事、橋梁工事を促進し、2020年度の開通を図ります。

国道106号 “平津戸松草道路(平津戸・岩井～松草)”／宮古市

宮古市平津戸から宮古市区界を結ぶ延長7kmの道路です。この区間は平成23年度に事業化となりました。

【設計諸元】 幅員 ……2車線　13.5m及び12.0m
構造規格…第1種第3級及び第3種第2級
設計速度…80km/h及び60km/h

2019年度事業内容

改良工事、トンネル工事、橋梁工事を促進します。

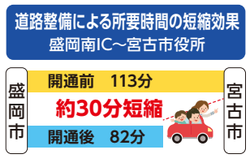
事業の効果

隘路箇所の解消による沿岸部と内陸部を結ぶ横断軸の強化、所要時間の短縮による連携・連絡強化を図り、地域の活性化を支援します。

観光地へのアクセス向上により観光振興に寄与
宮古・盛岡間の時間短縮により観光圏域が拡大します

宮古地域には「浄土ヶ浜」や「海産物」などの観光資源が豊富にあります。宮古盛岡横断道路の整備により、盛岡から宮古地域の主要な観光地へは
約90分で到達します。

道路整備による所要時間の短縮効果
盛岡南IC～宮古市役所

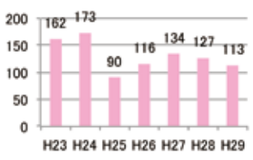


※時間短縮はH22道路交通センサスを基に算出
(将来は道路構造に応じた速度で算出)

岩手県初のフェリー定期航路が平成30年6月22日に開設

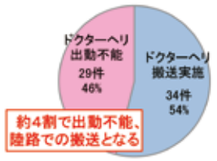
救急搬送や医療活動の迅速性・安定性を確保
三次救急医療施設への搬送時間を短縮します

宮古地区から盛岡市内の病院への搬送件数推移



※陸路(救急車)での搬送件数

ドクターヘリ出動要請件数(H29)



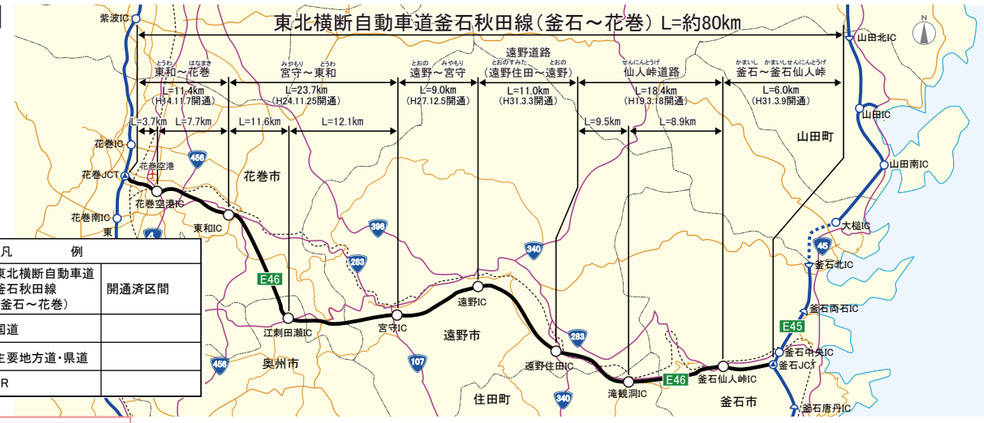
※宮古地区外への搬送件数
※「出動不能」は、ドクターヘリの出動要請をしたものの、悪天候・日没等の理由により出動できなかったケース
※宮古消防全件数

資料：宮古地区広域行政組合消防本部搬送実績

復興支援道路　東北横断自動車道釜石秋田線

東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻)は平成31年3月で全線開通となりました。

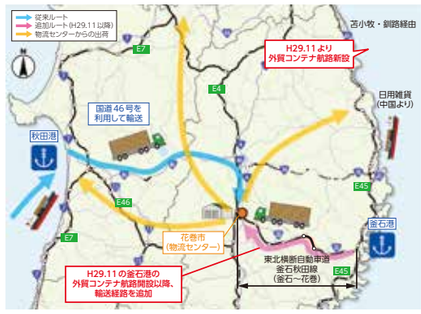
【平面図】



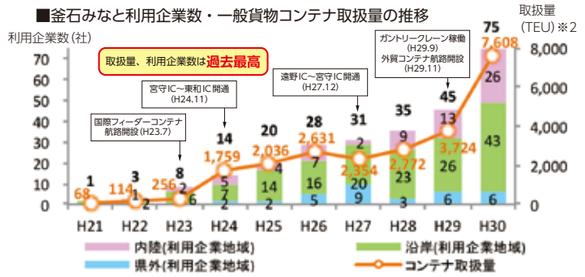
事業の効果

復興を支える物流の効率化を支援

◆釜石港では、利用企業やコンテナ取扱量が増加。
◆花巻市に物流センターがある企業では、東北横断道を利用する輸送経路を追加。



■釜石みなと利用企業数・一般貨物コンテナ取扱量の推移



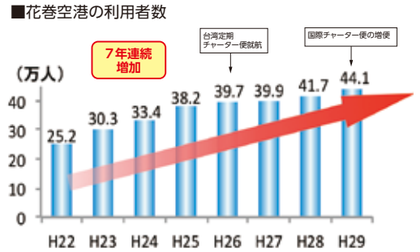
※1：H27は復興建設発生土の輸送分(2,066TEU)を除いた値
※2：TEUとは20フィートで換算したコンテナ個数を表す単位

資料：釜石市

観光拠点へのアクセス性向上による広域周遊の拡大を支援

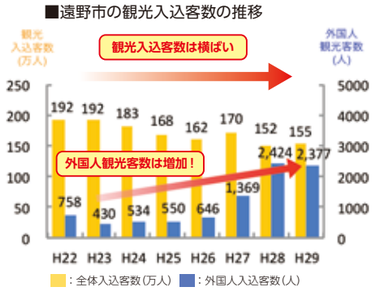
◆花巻空港ではH22年以降利用客数が毎年増加し、H30年度には台湾便と上海便の国際定期便就航が決定。
◆東北横断道の開通により、沿岸地域へのインバウンド需要やアクセス性向上による広域周遊の拡大を支援。

■花巻空港の利用者数



資料：岩手県(国内定期便とチャーター便を含む)

■遠野市の観光入込客数の推移



資料：岩手県観光統計

道路整備による短縮時間

花巻市役所
宮守IC-東和IC 開通前
110分
約30分短縮
全線 開通後　80分
釜石市役所

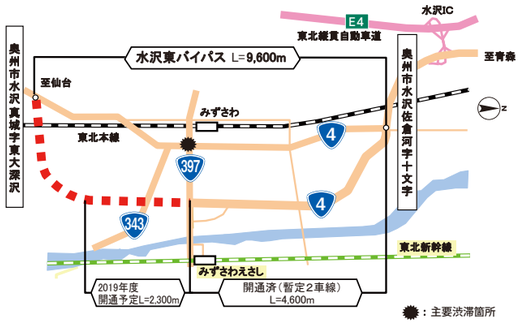
※時間短縮はH27年度年度全国道路・街路交通情勢調査を基に算出
(将来は道路構造に応じた速度で算出)

改築事業

国道4号　水沢東（みずさわひがし）バイパス／奥州市

事業の概要

水沢東バイパスは奥州市内を通過する国道4号の交通混雑の緩和と、東北縦貫自動車道や東北新幹線水沢江刺駅へのアクセス機能を高め、広域的な交流の推進を目的とした、延長9.6kmのバイパス事業です。

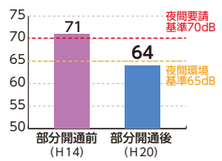


事業の効果

- 市街地を通過する交通の走行速度の向上、混雑の緩和が図られます。
- 現道の交通がバイパスに転換し、交通事故の減少や夜間騒音の低減など、沿道環境の改善が図られます。

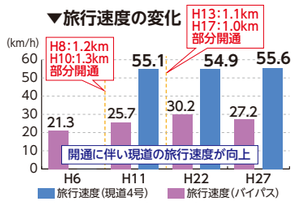
部分開通の整備効果

▼現道4号の夜間騒音の変化



資料:環境センサス(H14、H20)

▼旅行速度の変化



資料:道路交通センサス(H6～H27)

2019年度事業内容　用地取得及び改良舗装工事を促進します。奥州市水沢姉体町～同市水沢東中通り二丁目間において2019年度の開通を図ります。

国道4号　金ケ崎（かねがさき）拡幅／胆沢郡金ケ崎町

事業の概要

金ケ崎拡幅は、金ケ崎町内の国道4号の交通混雑の緩和と交通安全の確保を図ると共に、周辺の工業団地からの円滑な物流の確保、更なる経済産業活動の支援等を目的とした、延長5.2kmの4車線拡幅事業です。

事業の効果

- 混雑の緩和により円滑な交通の確保が図られるとともに周辺工業団地との速達性が向上し、物流の効率化及び産業の生産性向上が図られます。
- 冬期旅行速度の向上により時間信頼性が確保され、通勤・物流交通の定時性を確保されます。

[事業区間の渋滞状況]

2019年度事業内容　用地調査、調査設計等を実施します。

国道4号　北上（きたかみ）拡幅／北上市

事業の概要

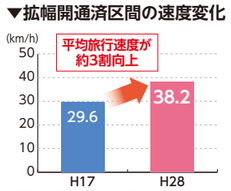
北上拡幅は、昭和44年度に開通した北上バイパス沿道の市街化が進んだため、交通混雑の緩和と交通安全の確保、沿道環境の改善等を目的とした、延長12.2kmの4車線拡幅事業です。

事業の効果

- 混雑の緩和により円滑な交通の確保が図られるとともに周辺工業団地と北上金ケ崎IC間の速達性が向上し、物流の効率化及び産業の活性化が図られます。

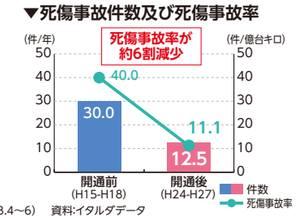
部分開通の整備効果

▼拡幅開通済区間の速度変化



資料：H17/センサス(H17)
混雑時旅行速度H28/プローブデータ(H28.4～6)

▼死傷事故件数及び死傷事故率



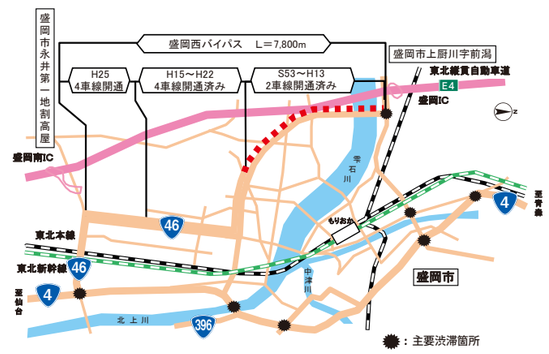
資料:イタルダデータ

2019年度事業内容　北上市相去町地区において、用地取得及び改良工事を促進します。

国道46号　盛岡西（もりおかにし）バイパス／盛岡市

事業の概要

盛岡西バイパスは、盛岡都市圏の交通を円滑にし、都市環境を改善するなど都市機能を高めることを目的とした延長7.8kmのバイパス事業です。現在は、2車線区間3.6kmの4車線化を進めています。

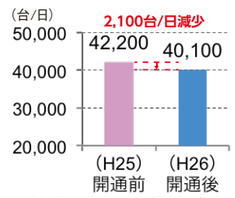


事業の効果

- 環状・放射ネットワークの形成により盛岡都市圏の混雑の緩和が図られます。
- 高速道路へのアクセス性向上で、広域物流の効率化が図られます。
- 新たな市街地の交通軸が形成され、新市街地の発展に寄与します。

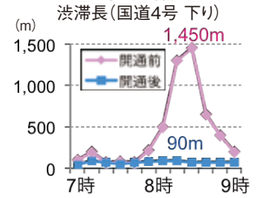
全線開通（H25.12）の整備効果

▼国道４号川久保交差点付近交通量



資料:トラフィックカウンター（平日平均）
※H25:12月1日～20日、H26:4月

▼国道4号川久保交差点 渋滞長（国道4号 下り）



資料:渋滞長調査
開通前:H25.12.17(火)開通後:H26.4.22(火)

2019年度事業内容　盛岡市本宮～上厨川地区の2車線区間において、4車線化の工事等を促進します。

交通安全事業

交通安全事業の効果と概要

岩手河川国道事務所における交通安全事業は全部で10箇所あり、交通事故の削減及び安全で円滑な交通環境の確保を目的に、下記の事業を推進しています。

交差点改良……主に右折レーンの無い交差点上において、右折レーンを整備し、直進車両と右折車両を分離することにより交通事故防止を図る。（6箇所）

付加車線整備……2車線区間等に車線を追加することで、無理な追い越し等による交通事故防止を図る。（2箇所）

歩道設置……歩道を整備することにより、安全安心な交通環境の確保を図る。（2箇所）

国道4号　山の神（やまかみ）地区交差点改良／花巻市（2019年度新規）

事業の概要

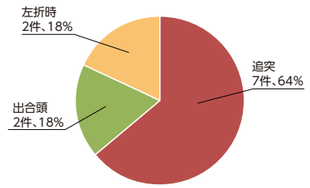
山の神地区（花巻東BP南口交差点）は、左折レーンに滞留しきれず渋滞し、速度低下している車両等への追突事故が多発しています。

[位置図]

[事業区間の現況]

国道4号　山の神地区交差点の交通状況

山の神　死傷事故件数



【事故類型（H25～H29）】

2019年度事業内容　花巻市山の神地区において、調査設計に着手します。

国道4号　村崎野（むらさきの）地区交差点改良／北上市（2019年度新規）

事業の概要

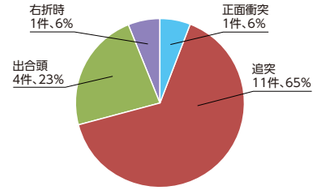
村崎野地区（中大堰川交差点）は、4車線から2車線への絞り込み等に起因する渋滞により停止している車両や交差点の右折待ち車両への追突事故が多発しています。

[位置図]

[事業区間の現況]

国道4号　村崎野地区交差点の交通状況

村崎野　死傷事故件数



【事故類型（H25～H29）】

2019年度事業内容　北上市村崎野地区において、調査設計に着手します。

国道4号　一関（いちのせき）地区事故対策／一関市

事業の概要

一関地区（高梨交差点～一関大橋北交差点）は、橋梁区間は片側歩道しかなく、歩行者・自転車の通行に支障をきたしており、また、交差点付近での減速等による追突事故が多発しています。

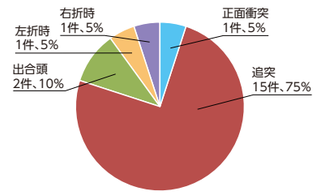
対策内容：歩道整備、付加車線整備

[位置図]

[事業区間の現況]

国道4号　一関大橋の交通状況

一関　死傷事故件数



【事故類型（H25～H29）】

2019年度事業内容　一関地区（高梨交差点～一関大橋北交差点）において、用地取得、工事を促進します。

国道4号　折居（おりい）交差点改良／奥州市

事業の概要

折居交差点は、上下線とも右折レーンがないため、交差点付近での急停止・急減速等による追突事故が多発しています。

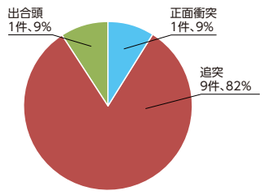
対策内容：右折レーン設置

[位置図]

[事業区間の現況]

国道4号　折居交差点の交通状況

折居　死傷事故件数



【事故類型（H25～H29）】

2019年度事業内容　折居交差点において、工事を促進します。

国道4号　紫波地区（城山入口）交差点改良／紫波郡紫波町

事業の概要

紫波地区（城山入口交差点）は、上下線とも右折レーンがないため、同一車線に右折待ち車両と直進車両が混在し円滑な走行の阻害による追突事故が多発しています。

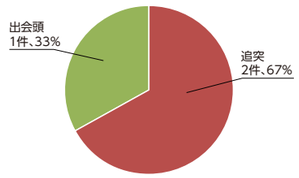
対策内容：右折レーン設置

[位置図]

[事業区間の現況]

国道4号　城山入口交差点の交通状況

城山　死傷事故件数



【事故類型（H25～H29）】

2019年度事業内容　紫波地区（城山入口）において、工事を促進します。

国道4号　北日詰（きたひつめ）交差点改良／紫波郡紫波町

事業の概要

北日詰交差点は、上下線とも右折レーンがないため、同一車線に右折待ち車両と直進車両が混在し円滑な走行の阻害による追突事故が多発しています。

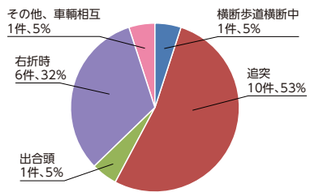
対策内容：右折レーン設置

[位置図]

[事業区間の現況]

国道4号　日詰駅入口交差点の交通状況

北日詰　死傷事故件数



【事故類型（H25～H29）】

2019年度事業内容　北日詰交差点において、用地取得を促進します。

国道4号　川久保（かわくぼ）交差点改良／盛岡市

事業の概要

川久保交差点は、交差点南側に右折レーンがなく右折待ち車両による直進車の交通阻害に起因する追突事故が多発しています。

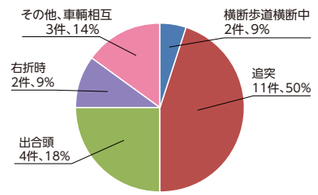
対策内容：右折レーン設置

[位置図]

[事業区間の現況]

国道4号　川久保交差点の交通状況

川久保　死傷事故件数



【事故類型（H25～H29）】

2019年度事業内容　川久保交差点において、調査設計を促進します。

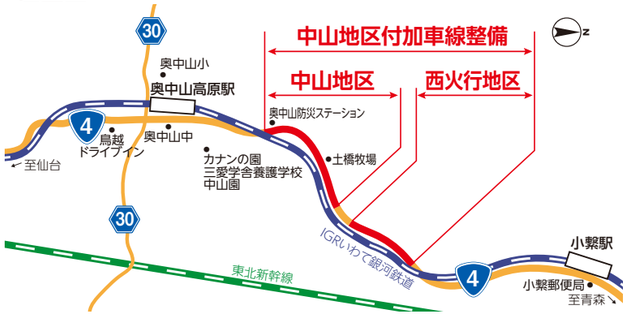
国道4号　中山（なかやま）地区付加車線整備／二戸郡一戸町

事業の概要

中山地区（一戸町奥中山地内）は、片側1車線区間であり、上り坂の箇所は特に遅い車両によって速度低下しています

対策内容：付加車線整備

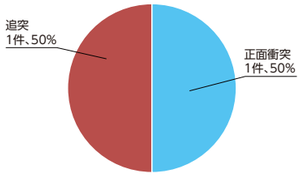
［位置図］



［事業区間の現況］

国道4号　中山地区の立ち往生による渋滞状況

中山　死傷事故件数



【事故類型（H25～H29）】

2019年度事業内容　中山地区（一戸町奥中山地内）において、調査設計、用地取得を促進します。

国道4号　岩舘（いわたて）地区歩道整備／二戸郡一戸町

事業の概要

岩舘地区は歩道が未整備の状況であり、生徒等の歩行者及び自転車の通行に支障をきたしています。

対策内容：歩道整備

［位置図］

［事業区間の現況］

国道4号　岩舘地区の交通状況

2019年度事業内容　岩舘地区（一戸町岩舘地内）において、調査設計、工事を促進します。

国道4号　青岩（せいがん）地区歩道整備／二戸市

事業の概要

青岩地区（二戸釜沢地内）は交通量が多く、青岩大橋には歩道が未整備のため、歩行者の通行に支障をきたしています。

対策内容：歩道整備

［位置図］

［事業区間の現況］

国道4号　青岩大橋歩道未整備の状況

2019年度事業内容　青岩地区（二戸市釜沢地内）において、工事を促進します。

道路管理

岩手河川国道事務所では、岩手県内の国道4号・46号・東北横断自動車道（遠野住田IC～東和IC）を「水沢」「盛岡」「二戸」「盛岡西」「花巻」の5つの国道出張所で維持管理をしています。

道　路　管　理

道路を利用する方々が安全に道路を通行できるよう、常に良好な状態に保つための道路巡回や監視、橋梁・トンネル等の各種構造物の点検を実施しています。

落下物処置

道路巡回

道路維持・修繕

道路の保全と円滑な交通の確保を図るため、路面・構造物等の補修、側溝の清掃、除草等を実施しています。また、法面の防災対策や橋梁・トンネル等の補修を実施し、道路の安全性を確保しています。

構造物補修

災害復旧

許　認　可　関　係

道路占用の許認可、請願工事の許認可、特殊車両の運行許認可に係る協議及び管理事務を行っています。

特殊車輌の通行指導取締り

橋梁点検・補修・耐震補強

国道4号・46号・釜石道の老朽化が進んでいる橋梁について損傷箇所の補修を行うとともに、大地震に備え耐震補強を行い、橋梁の保全と交通の安全を確保します。また、橋梁の定期点検を行い損傷状況等を把握します。

定期点検

耐震補強

管理路線延長

（単位：km）

路線	市町村名	管理延長		担当出張所
4号	一関市、平泉町、奥州市、金ケ崎町、北上市、花巻市	193.2	73.9	水沢国道
	花巻市、紫波町、矢巾町、盛岡市、滝沢市		59.2	盛岡国道
	岩手町、一戸町、二戸市		60.1	二戸国道
46号	盛岡市、滝沢市、雫石町	39.1	39.1	盛岡西国道
釜石道	花巻市、奥州市、遠野市	43.8	43.8	花巻国道
合　計		276.1	276.1	

（2019年4月1日現在）

雪寒事業

冬期間における道路の円滑な通行を確保するために、車道及び歩道の除雪、カーブ及び坂部等への凍結抑制剤散布を行っています。また、防雪柵、雪崩防止柵を設置し、地吹雪や雪崩への対策を行っています。

車道除雪

歩道除雪（機械）

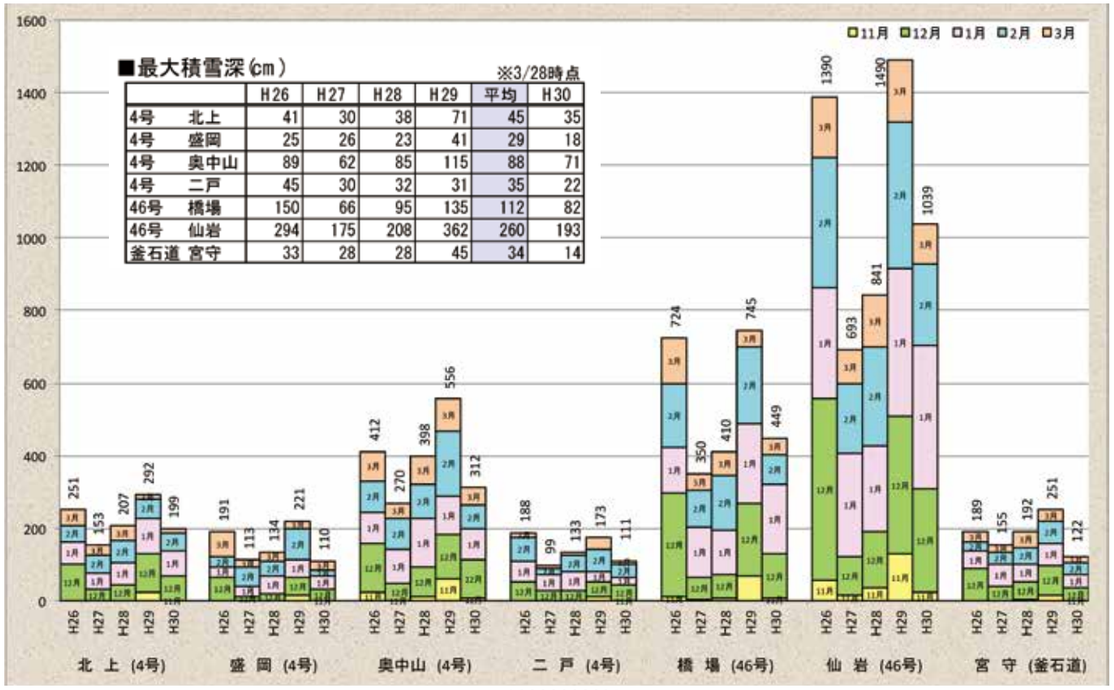
歩道除雪（人力）

凍結抑制剤散布

雪庇（せっぴ）処理

学習会の様子（除雪出動式時）

岩手河川国道事務所　月別累加降雪量（cm）



	H26	H27	H28	H29	平均	H30
4号　北上	41	30	38	71	45	35
4号　盛岡	25	26	23	41	29	18
4号　奥中山	89	62	85	115	88	71
4号　二戸	45	30	32	31	35	22
46号　橋場	150	66	95	135	112	82
46号　仙岩	294	175	208	362	260	193
釜石道　宮守	33	28	28	45	34	14

防災

Disaster prevention

災害対策基本法

国民の生命、身体及び財産を災害から保護し、もって、社会の秩序の維持と公共の福祉の確保に資することを目的としております。

1．緊急車両の通行ルート確保のための放置車両対策

大規模地震や大雪等の災害時には、緊急車両の妨げとなる放置車両や立ち往生車両について、車両の運転手等に移動を命令または道路管理者自ら移動することがあります。

※大雪により緊急に除雪が必要となった場合には、一定の区間を通行止めとして集中除雪を行うことがあります。

車両の牽引訓練

2．土地の一時使用等

１の措置のためやむを得ない必要がある時、道路管理者は、他人の土地の一時使用、竹木その他の障害物の処分を行うことがあります。

TOPICS 岩手県道路メンテナンス会議

◆岩手県道路メンテナンス会議の取り組み

道路施設の適切な維持管理のためには、「点検⇒診断⇒措置⇒記録」のメンテナンスサイクルを確実に回すことが必要です。また「長寿命化計画」を策定し、損傷状態に応じた補修を計画的に行うことが大切です。

岩手県道路メンテナンス会議は、県内道路管理者の道路メンテナンスに関する情報の共有や、計画などに関する関係者の意見調整、県民・道路利用者に向けた広報活動などを行っています。

道路点検の専門家が間近で、見て触って点検します。橋の点検車などを使いながら、変状を見落とさないよう徹底的に調査します。

傷みの状態や原因から4段階に診断区分します。経過年数のほか、積載重量オーバーのトラックや冬みちの凍結防止剤は、橋を傷める要因となります。

点検結果や措置履歴の記録を保存します。次回点検や日常管理に役立てます。点検結果は「道路メンテナンス年報」として公表しています。

診断結果に応じて、継続的な観察、計画的な補修、場合によっては緊急の通行止めなど、適切に措置をおこないます。また、こまめな管理も大切です。

反映　充実

長寿命化計画

岩手県道路メンテナンス会議

自治体向け講習会（広報活動）

防災・災害対策

岩手河川国道事務所では、直轄管理区間の災害対策として、気象観測機器及びカメラによる情報収集を常時実施しています。また、災害時には、収集した情報の提供及び緊急作業の支援として災害対策用機械を配備しています。

■情報ネットワークの整備

リアルタイムで情報収集・提供するため、光ケーブル等を利用した情報ネットワークの整備を推進しています。また、岩手県庁及び自治体等との間に光ケーブルネットワークを整備し防災情報の共有化を図っております。

情報通信機器

河川系		道路系		砂防系	
河川監視カメラ	68箇所	道路監視カメラ	164箇所	岩手山監視カメラ	17箇所
排水機場遠隔操作	3箇所	気象観測装置	31箇所		(20台)
樋門遠隔操作	1箇所	道路情報板	52箇所	土石流観測装置	7箇所
陸閘遠隔操作	2箇所	交通量観測	19箇所	気象観測装置	3箇所
水門等監視設備	27箇所	道の駅	3箇所		

■災害対策用機械の配備

災害時の通信用として衛星通信車、夜間照明用として照明車、内水を排除する排水ポンプ車、現地の作業の指示及び打合せに使用する対策本部車などを配備しており、災害復旧活動を支援します。

機械名	規格	台数	配備出張所
対策本部車	車体拡幅型	1	盛岡西国道維持出張所
衛星通信車	衛星通信装置付	1	
待機支援車	バス型	1	
照明車	2kw×6灯　屈折式	1	盛岡出張所
		1	盛岡西国道維持出張所
	2kw×6灯　伸縮式	1	水沢出張所
排水ポンプ車	30㎥／min（高揚程）	1	盛岡出張所
	30㎥／min	1	
	30㎥／min（高揚程）	1	水沢出張所
	60㎥／min	2	一関出張所
	30㎥／min	1	
	30㎥／min（高揚程）	1	
遠隔操縦式バックホウ	0.5㎥	1	
衛星小型画像伝送装置	可搬型（ku-SAT）	2	岩手河川国道事務所

排水ポンプ車

照明車

■リエゾン（フランス語で「つなぐ」という意味）

災害発生時は岩手県庁や被災した自治体に地方整備局との橋渡し役としてリエゾンを派遣し、被災状況などの情報収集や支援ニーズの把握を積極的に行います。

■TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）

TEC-FORCEは、被災地の早期復旧に向けた被災状況調査など自治体への技術的な支援を行います。

また、被災現場の応急的な通信確保、進入ルートを確保する道路啓開など応急復旧に向けた支援を行います。

※平成30年7月豪雨では、岩手河川国道事務所から岡山県および広島県の被災地にTEC-FORCE 8名を派遣しました。
また、平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震では、TEC-FORCE 4名と災害対策用機械４台を派遣し、支援を行いました。

リエゾン活動状況
（平成28年台風10号岩手県庁）

TEC-FORCE活動状況
（平成30年7月豪雨 岡山県）

TEC-FORCE活動状況
（平成30年7月豪雨 広島県）

TEC-FORCE活動状況
（平成30年9月北海道胆振東部地震）

情報通信技術 Information and Communication Technology

TOPICS

i-Construction　～建設業の生産性向上～

建設業は社会資本整備の担い手であると同時に、社会の安全・安心の確保を担う、我が国の国土保全上「地域の守り手」でもあります。

しかし、人口減少や高齢化が進む中にあっても、これらの役割を果たすため、建設業の賃金水準の向上や休日の拡大等による働き方改革とともに生産性向上が必要不可欠となっています。

国土交通省では、調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新までの建設生産プロセスでICT等を活用する「i-Construction」を推進し、建設現場の生産性を2025年度までに2割向上を目指しています。

測量　3次元測量（UAVを用いた測量マニュアルの導入）

従来測量　UAV（ドローン等）による3次元測量

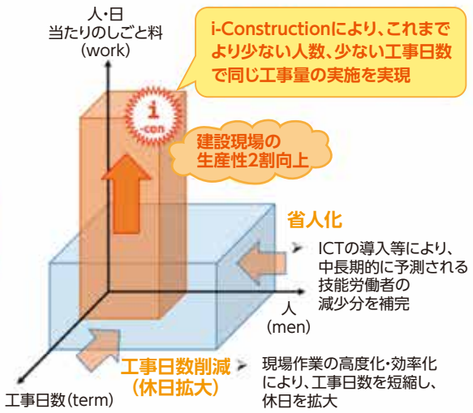
施工　ICT建機による施工

従来施工　ICT建機による施工

検査　検査日数・書類の削減

人力で200m毎に計測　計測結果を書類で確認　3次元データをパソコンで確認

【生産性向上イメージ】



ICT(Information and Communication Technology)とは「情報通信技術」

～岩手河川国道事務所の取組～

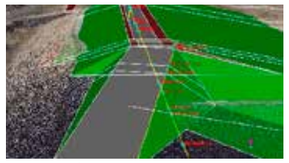
岩手河川国道事務所では、ＩＣＴを活用した施工を積極的に多くの工事で実施しています。

現場からは、「UAV使用により、従来は５日程度要した起工測量が、１日で済んだ。」、「天候に左右され、空模様で一喜一憂している土工事での現場作業効率の向上は、非常に頼もしい技術。」、「ウェアラブルカメラを利用した検査は遠い現場に足を運ぶ必要が無く時間を有効利用できる。」など作業効率の向上の声が上がっています。

ウェアラブルカメラを使用した現場での検測状況

執務室で現場の検測状況をPCで確認

PCに映し出された現場の検測映像



3Dデータによる完成イメージ

○i-Construction相談窓口を開設

岩手河川国道事務所では、i-Construction の更なる普及・拡大を促進することを目的に、「i-Construction サポート事務所」として、相談窓口を開設しました。

相談窓口では、地方公共団体や地域企業の i-Construction の取組をサポートしていきます。

i-Construction 相談窓口（品質確保課）　TEL019-624-3138

かわ、みち、やま、岩手の情報満載！岩手河川国道事務所のホームページ

ホームページアドレス http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/

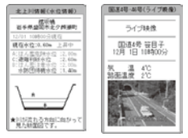
岩手河川国道　検索

復興道路	復興道路、復興支援道路の進捗状況を国民の皆様方にお伝えしております。
一関遊水地関連事業	一関遊水地事業の概要や進捗状況などをご覧になれます。
かわ（北上川）リアルタイム情報	現在の北上川の状況をカメラ画像で見られるほか、水位情報、雨量情報の最新情報がリアルタイムでご覧になれます。
みち（国道4号・46号・釜石道）リアルタイム情報	現在の国道4号・46号・釜石道の状況をカメラ画像で見られるほか、路面情報、雨量情報などの最新情報がリアルタイムでご覧になれます。
やま（岩手山）リアルタイム情報	岩手山・八幡平のカメラ画像、雨量情報などの最新情報がリアルタイムでご覧になれます。
こどもひろば	北上川調査隊、岩手山調査隊、はたらく機械など、子供が楽しみながら社会学習できる情報がいっぱいです。
岩手山火山防災情報ステーション（イーハトーヴ火山局）	岩手山の火山活動の歴史や、防災拠点としての役割を紹介しています。

▌モバイルサイト

北上川流域や国道4号・46号等のリアルタイム情報を発信中!!

- 防災・緊急情報
- 北上川情報
- 国道4号・46号・釜石道情報
- 岩手山情報
- 気象・地震情報
- 防災便利帳　等



http://keitai.thr.mlit.go.jp/iwate/

より地域のみなさんとつながるために

岩手河川国道　公式フェイスブック　検索

岩手河川国道　公式ツイッター　検索

みなさまの知りたい見たいにお応えします

▌出前講座

岩手河川国道事務所では、事業や施策について、地域の皆さんにもっと知っていただくとともに、皆さんがお持ちのさまざまな疑問などにお答えする場のひとつとして「出前講座」を開設しています。

「出前講座」においては、わたしたち職員の知識や経験を活かし、分かりやすくお話させていただきます。小中学生や高校生の学習にご活用いただけるものなど、幅広い講座をご用意しましたので、ぜひご活用ください。

■出張範囲	原則として、岩手県内全域
■講座時間	平日の9：00から17：00までの2時間以内です。
■講座場所	会場の手配、準備、片付け、開催周知等は、依頼者側でご対応をお願いします。
■経費等	講義料、出張にかかる交通費は基本的には不要です。また、会場借上費用は、依頼者側で負担をお願いします。
■申込方法	岩手河川国道事務所HP内（出前講座のご案内）より選び、「出前講座申込書」に必要事項をご記入のうえ、電子メールもしくはFAXでお申し込みください。 メール：thr-731iwate@mlit.go.jp　FAX：019-624-6315 ※詳しくはホームページ「岩手河川国道」で検索して下さい。

▌総合学習

岩手河川国道事務所では「総合的な学習の時間」への支援を行うため河川、砂防、道路といったフィールドを、実際に見て、触れて、体験し、また現場の方々の声を聞いたりと、多様な学習ができる場として提供し、子供たちの「生きる力」「自主的な学習能力」を高められるよう、より一層の支援を実施していきたいと考えております。「総合的な学習の時間」にふさわしい学習素材がありますのでぜひご活用ください。

▌現場見学会

岩手河川国道事務所では、北上川などの改修事業、八幡平山系の砂防事業、国道4号・46号、東北横断道釜石秋田線や宮古盛岡横断道路の道路事業のほか、施設の維持管理など、様々な事業を行い地域を支えています。現場をより多くのみなさまに見て、ふれて、社会基盤整備の重要性・必要性をご理解いただくため、見学者を募集しています。

■見学時間	平日の9：00から17：00までの時間帯で2時間以内です。なお、休日見学についてはご相談下さい。
■見学料	見学料は無料です。ただし、現場までの移動経費・交通費、傷害事故に係る保険加入料等は依頼者で負担をお願いします。
■申込方法	2019事業概要（P2～3）主要事業箇所より選び、「現場見学申込書」に必要事項をご記入のうえ、電子メールもしくはFAXでお申し込みください。 メール：thr-731iwate@mlit.go.jp　FAX：019-624-6315 ※詳しくはホームページ「岩手河川国道」で検索して下さい。

相談室　国民のみなさんからの通報・苦情・相談・質問・提言等にお応えするため、右の相談室を設置しておりますので、お気軽にご連絡下さい。

窓口対応時間　8:30～17:15（但し閉庁日を除く）

道路緊急ダイヤル　24時間受付　＃9910

地域づくり相談室（計画課）	019-624-3179
技術開発相談室（品質確保課）	019-624-3138
公共工事契約相談室（経理課）	019-624-3214
災害情報普及支援室（調査第一課）	019-624-3166
道の相談室（道路管理第一課）	019-654-8460

インターネットによるご相談　http://www.mlit.go.jp/road/110.htm

国土交通省　東北地方整備局

❶ 岩手河川国道事務所

〒020-0066　岩手県盛岡市上田四丁目2-2　TEL 019-624-3131（代表）

❷ 盛岡出張所

〒020-0862　岩手県盛岡市東仙北一丁目11-11　TEL 019-636-0368・0444

❸ 水沢出張所

〒023-0828　岩手県奥州市水沢東大通り一丁目2-14　TEL 0197-24-4173・4174

❹ 一関出張所

〒029-0131　岩手県一関市狐禅寺字石ノ瀬155-81　TEL 0191-23-2435

❺ 一関遊水地用地出張所

〒021-0011　岩手県一関市山目町三丁目10-10　TEL 0191-26-4584・4585

❻ 盛岡国道維持出張所

〒020-0837　岩手県盛岡市津志田町一丁目5-15　TEL 019-636-0018・0088

❼ 二戸国道維持出張所

〒028-6103　岩手県二戸市石切所字荒瀬72-1　TEL 0195-23-3366・3367

❽ 水沢国道維持出張所

〒023-0003　岩手県奥州市水沢佐倉河字車堂79　TEL 0197-24-2187・2188

❾ 盛岡西国道維持出張所

〒020-0765　岩手県滝沢市大釜小屋敷8-7　TEL 019-687-5888

❿ 花巻国道出張所

〒025-0003　岩手県花巻市東宮野目10-55　TEL 0198-26-3211

各課直通番号はP1の組織図をご覧ください。